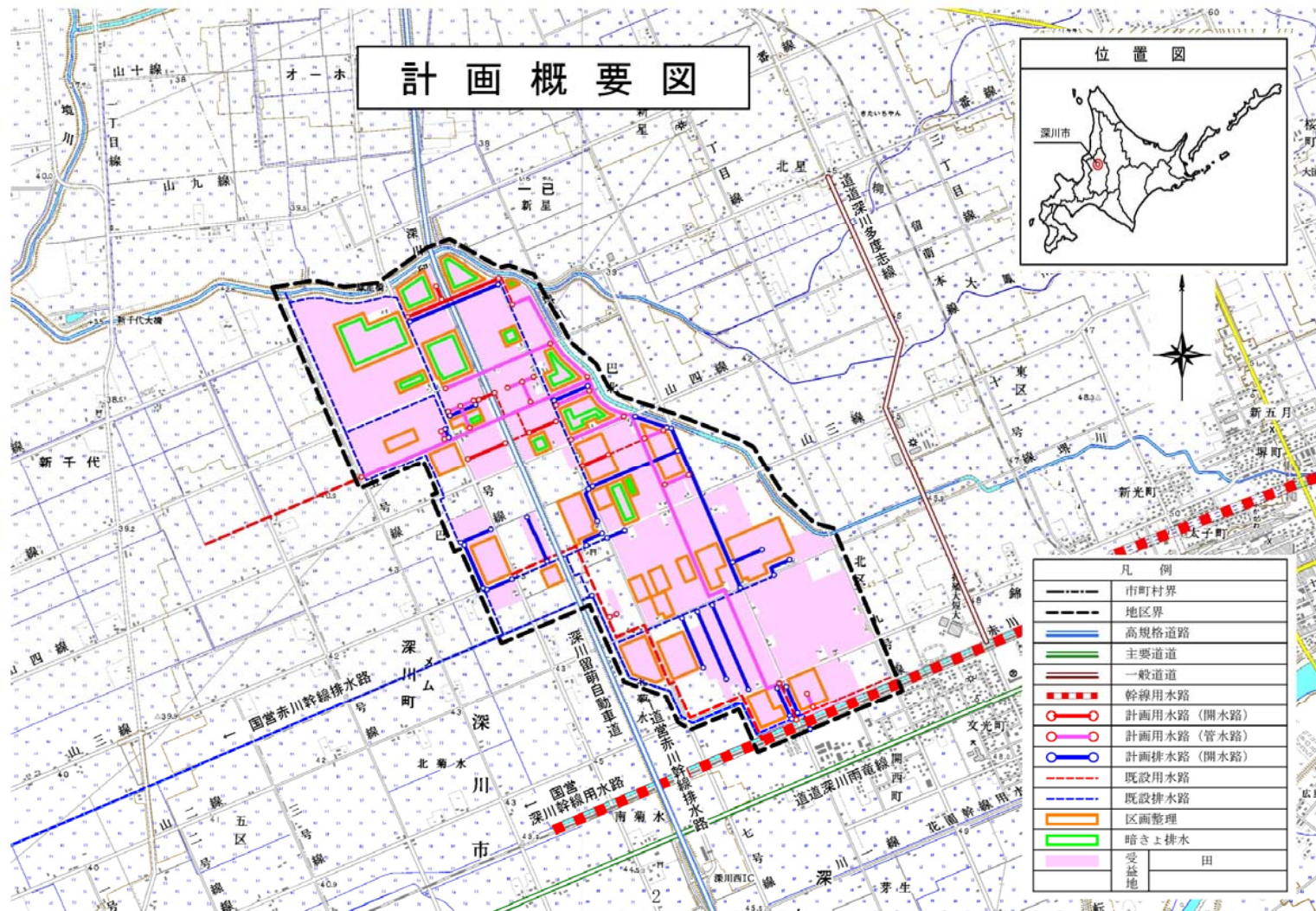


地区別事業概要

事業名	農業水利施設保全合理化事業	地区名	はち ござせん 8 号線	
関係市町村	北海道 ふかがわし 深川市	事業主体	北海道	
事業目的	本地区は、国営かんがい排水事業北空知地区の用水受益に位置し、昭和40年代の道営ほ場整備事業巴地区等で末端用排水施設が整備された地域で、水稻栽培を主に小麦、大豆を組み合わせた土地利用型農業を展開している。しかしながら、用排水施設は、老朽化の進行で維持管理に労力を費やしている。また、農地は、不整形な小区画ほ場が多く効率的な営農の妨げとなっている。 このため、用水路のパイプライン化等老朽化した既存の水利システムを更新し、水利用・水管理の効率化・省力化や水利施設の安全性向上を進め、ほ場の区画整理を併せ行うことにより、本地域の農業競争力の強化を図るものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	262ha	29戸	2,038百万円	平成26～32年度
	主要工事	農業用排水施設整備 14km、区画整理 97ha		
	関連事業	該当なし		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	3,637百万円	2,814百万円	1.29	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：8号線地区土地改良事業計画概要書（北海道空知総合振興局調整課作成）



(別記様式 2 - 2 号)

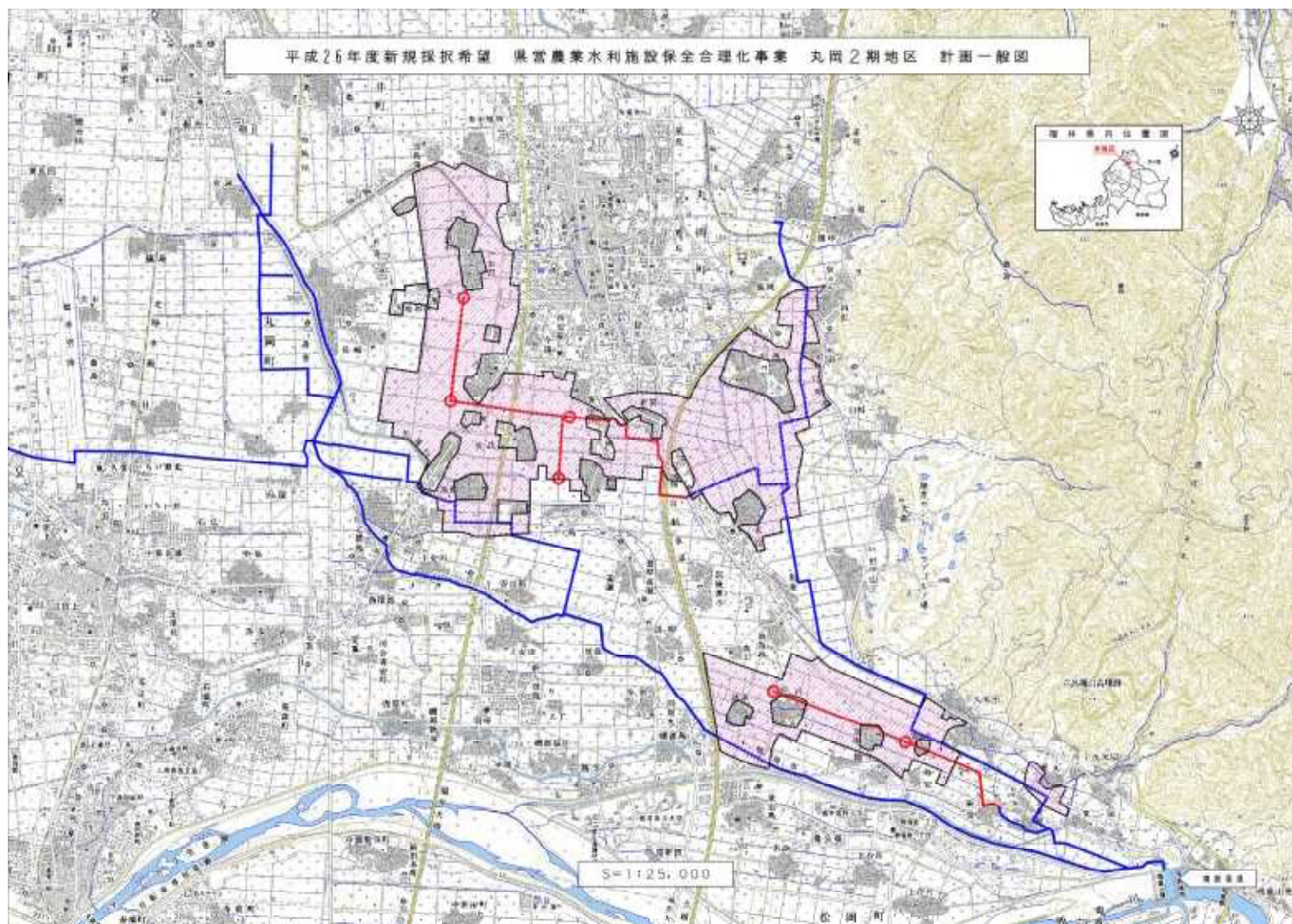
地区別事業概要

事業名	農業水利施設保全合理化事業		地区名	まるおか 2 期 丸岡 2 期
関係市町村	福井県 さかい し 坂井市、 えいへいじちよう 永平寺町		事業主体	福井県
事業目的	本地区の農業は九頭竜川を取水源とし、鳴鹿大堰より高棕用水路、新江用水路、十郷用水路を経て取水しているが、既存の幹線・支線用水路の老朽化による機能低下のほか、水配分の不均衡、ゴミ等の影響による水質悪化、維持管理費の増大等の問題が深刻化し農業経営を圧迫している状況である。 このため、国営かんがい事業で造成される幹線パイプラインに併せて、末端パイプラインを整備し、自然圧を利用した水管理システムを構築し、水利用・水管理の効率化・省力化や水利施設の安全性向上を進めることにより、本地域の農業競争力の強化を図るものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	412 ha	617戸	2,400百万円	平成26～32年度
	主要工事	農業用排水施設整備 58km		
	関連事業	国営かんがい排水事業 九頭竜川下流地区		
費用対効果	B : 総便益	C : 総費用	B / C	算定方式
	6,170百万円	5,246百万円	1.17	総費用総便益比方式
概要図	別添のとおり			

出典：丸岡 2 期地区土地改良事業計画概要書（福井県農村振興課作成）

概 要 図

農業水利施設保全合理化事業（農業水利施設等整備事業）丸岡2期地区



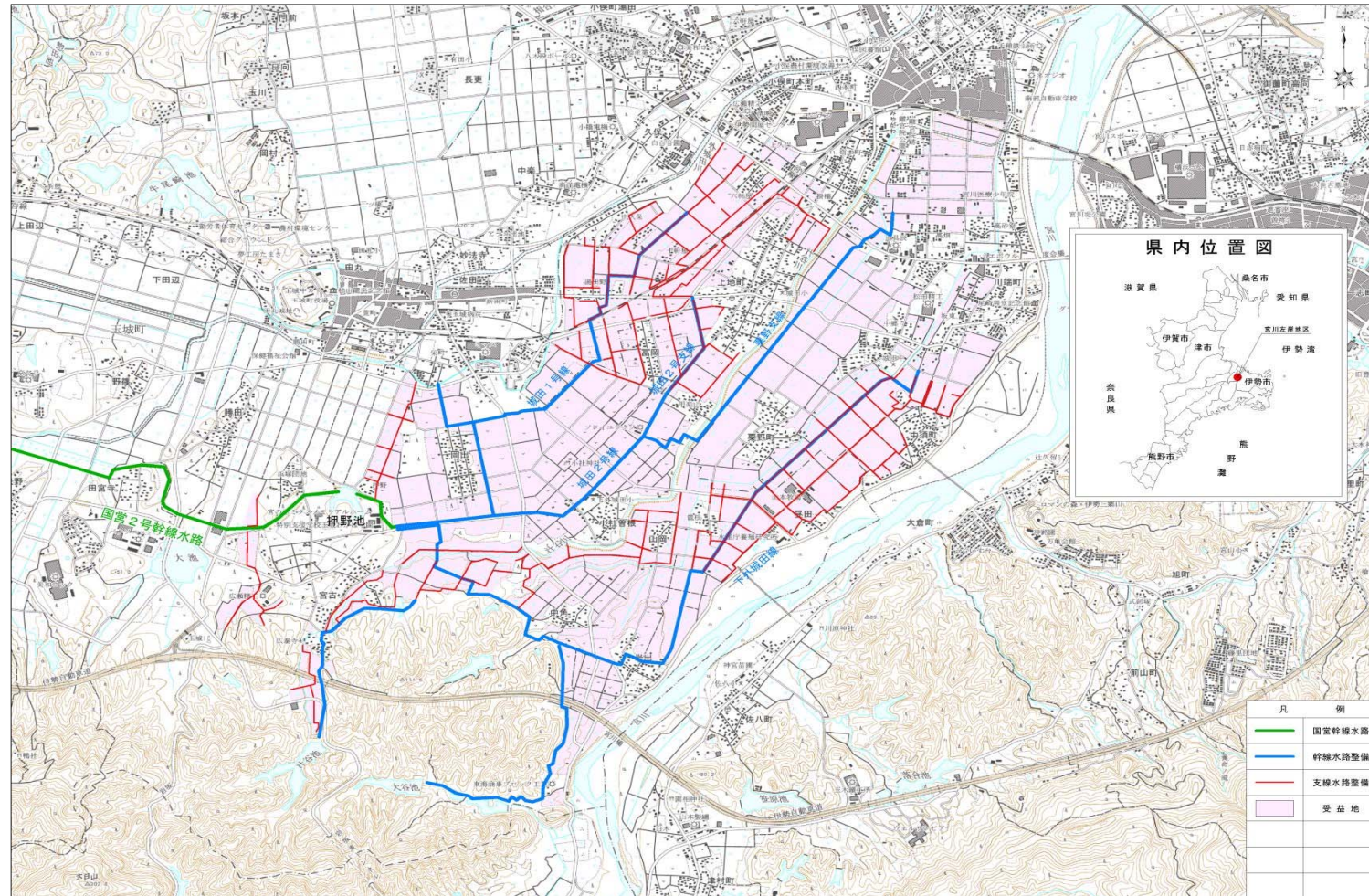
地区別事業概要

事業名	農業水利施設保全合理化事業		地区名	みやがわさがん 宮川左岸
関係市町村	三重県伊勢市・玉城町		事業主体	三重県
事業目的	本地区の幹線用水路及び支線用水路（パイプライン）は整備から40年程度経過しており、老朽化による漏水が各所で発生し、維持管理に多大な労力と費用を要している状況である。また、農業者の減少や高齢化、農業所得の減少が進む中、担い手への農地集積を加速化させるためには、担い手農家の水管理労力の負担を軽減する整備が必要とされている。 このため、老朽化したパイプラインの更新整備を行うことにより、農業水利施設の安定性及び生産性の向上を図ることを目的とする。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	671ha	911戸	5,150百万円	平成26～31年度
	主要工事	農業用排水施設整備 55km		
	関連事業	国営宮川用水第二期土地改良事業 農村地域防災減災事業（特定農業用管水路等特別対策事業）		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	16,181百万円	13,644百万円	1.18	総費用総便益方式
概要図	別添のとおり			

出典：宮川左岸地区土地改良事業計画概要書（三重県農業基盤整備課作成）

概要図

農業水利施設保全合理化事業 宮川左岸地区



(別記様式 2 - 2 号)

地区別事業概要

事業名	農業水利施設保全合理化事業		地区名	ことうへいや 1 き 湖東平野 1 期
関係市町村	滋賀県近江八幡市、東近江市、 愛知郡愛荘町、犬上郡豊郷町		事業主体	滋賀県
事業目的	本地区の農業水利施設は、県営かんがい排水事業（昭和43年度～昭和61年度）及び団体営かんがい排水事業（昭和44年度着工）によって整備されてきたが、施設造成後30年以上が経過し、性能低下が見られ、農業用水の安定供給に支障を来しているとともに、施設の維持管理に多大な経費と労力を要している。また、近年の営農形態の変化及び河川流量の減少等により農業用水の不足が生じている。 このため本事業により、老朽化が進行している用水路の改修等を行うとともに新たに水源施設の整備を行い、併せて関連事業により用水路の改修等を実施することにより、農業用水の安定供給と維持管理の軽減を図り、もって農業生産性の向上及び農業経営の安定に資するものである。			
事業概要	受益面積	受益戸数	総事業費	工 期
	5, 362ha	7, 349戸	3, 397百万円	H26～H30年度
	主要工事	農業用排水施設整備 1 式		
	関連事業	国営かんがい排水事業「湖東平野地区」 県営ため池等整備事業 県営水質保全対策事業「白鳥川中流Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期」 県営農業水利施設保全合理化事業「湖東平野 2 期地区」		
費用対効果	B：総便益	C：総費用	B／C	算定方式
	77, 124百万円	63, 252百万円	1. 21	総費用総便益比方式
概 要 図	別添のとおり			

概

要

図

農業水利施設保全合理化事業 湖東平野1期地区

